



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 加藤 忍

令和8年度 4月号
2026. 4. 9 **大安**

○2026年度スタート! 全校生徒459名 ♪『持ち場持ち場〜』を相寄れるように!!

令和8年度が始まりました。新入生163名を迎え、全校生徒459名、学級数20、教職員は52名。言葉を大切に、言葉の力を信じて、寄り添い、愛情のある双葉中教育を進めていきたいと決意します。

『1秒の言葉』 詩:小泉吉宏さん(コピーライター)

- はじめまして この1秒の短い言葉に、一生のときめきを感じることもある
- ありがとう この1秒の短い言葉に、人の優しさを知ることがある。
- がんばって この1秒の短い言葉で、勇気が蘇ってくることもある
- おめでとう この1秒の短い言葉で、幸せにあふれることがある
- ごめんなさい この1秒の短い言葉に、人の弱さを見ることもある
- さようなら この1秒の短い言葉が、一生の別れになることがある

『1秒に喜び、1秒に泣く、一所懸命、一秒』

出会いと別れはひとつつながり。だからこそ、出会った人に誠実に(至誠の心で)かかわりたいと思います。

(↑これは3月の離任式で紹介した言葉です)

○4月8日(水)入学式での校長式辞(一部抜粋)

双葉中の校歌には、1番から3番まで共通する言葉がひとつあります。そう、緑が丘です。君たちがこれから活躍する舞台、ホームタウン、この緑が丘の大地にも、新しい芽吹きを運ぶ「清臈節」が到来しました。

新入生163名のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる中学3年間は、人生で最も変化の多い時期であり、最も成長するであろう大人への準備期間です。先ほど聞いた校歌について、私が好きなフレーズを紹介します。さて、どこでしょうか? それは3番の『**持ち場持ち場を相寄りて**』です。これはどんな意味なのか? 集団生活では、全員がスーパースターである必要はありません。それぞれに個性や特長があります。それを自覚して、集団の中で、自分の役割や責任を果たすこと、あるいは気づいて挑戦してみること、他者をリスペクトすること、その経験の積み重ねが人の成長につながるのだと私は考えます。**成長**という言葉は「**長所に成る**」と書きます。長所を伸ばすことが成長。持ち場持ち場で、自分を磨く3年間ください。

ところで、みなさんはなぜ**目と鼻と耳**が2つずつあるのかを知っていますか?

目は、一方で正しいものを見、一方で悪いものを見るためにあります。鼻は、一方で良い臭いをかぎ、一方で臭いにおいをかぐためにあります。耳は、一方で正しいことを聴き、一方で悪いことを聴くためにあります。つまり、**見分け、かぎわけ、聞き分ける**ことが大切で、それを学ぶのが中学時代。これから始まるみなさんの生活は、楽しいことも多いのですが、迷ったり、つまづいたり、悩んだりすることもあるでしょう。そのときのために何が正しいのかを、しっかり**判断できる力**を養ってほしいのです。そして、**口**は、優しい、温かい言葉を出すための力があります。「ありがとう」や「ごめんなさい」が素直に言える生徒になってください。それは、本校の校訓「至誠」にも通じます。新入生の、まごころのある、至誠な生き方をこれから期待しています。

大丈夫! 皆さんには、あなたに寄り添える友だちや先輩、先生、そして家族がいます。だからこそ、至誠の心があれば絶対大丈夫!

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。私たち教職員は、生徒の限りない可能性を信じ、寄り添い、伴走者として、生徒の力を伸ばすように全力を挙げて教育活動に邁進していく所存です。信頼を得られるような安心、安全な学校づくりに努めることをここに誓います。

結びに、新入生をはじめ、全校生徒459名の「**成長**」を祈念して式辞といたします。

双葉中生、『**生い立て、そびえて、栄えあれ**』〜♪



職員紹介

(個人名は、学校HPにおいて、イニシャル表記をさせていただきます。)

【教務部】

- 校長：K校長 ○教頭：B教頭 ○教務主任：T教諭
- 養護：U教諭 ○栄養：I教諭 ○事務：N主査 ○司書：H司書 ○ALT：Mさん
- 講師：S教諭 T教諭 A教諭 N教諭
- 学力向上スタッフ：Nスタッフ Uスタッフ ○SC：Oカウンセラー ○業務員：Nさん Tさん

【1年部】

- 主任：O教諭 ○副主任：K教諭 ○1組担任：W教諭 ○2組担任：N教諭
- 3組担任：I教諭 ○4組担任：M教諭 ○5組担任：T教諭 ○所属：I教諭
- みどり1担任：T教諭 ○ふたば担任：K教諭 ○教育支援員：N支援員

【2年部】

- 主任：A教諭 ○副主任：O教諭 ○1組担任：H教諭 ○2組担任：H教諭
- 3組担任：H教諭 ○4組担任：S教諭 ○5組担任：M教諭
- みどり2、3担任：H教諭 ○みどり2、3副担任：D教諭 ○教育支援員：I支援員

【3年部】

- 主任：I教諭 ○副主任：O教諭 ○1組担任：O教諭 ○2組担任：H教諭
- 3組担任：E教諭 ○4組担任：K教諭 ○5組担任：N教諭 ○進路指導主事：Y教諭
- あおば担任：N教諭 ○わかば担任：F教諭 ○教育支援員：U支援員

○4月7日(火)始業式で、2,3年生に向けて語ったこと

新しい年度になりました。今、皆さんの心は、心機一転、がんばるぞという「新しい自分」づくりがはじまっているのではないかと推測しています。ぜひ「はじめの一步」、初心を大切にしてください。

さて、3月に卒業した卒業生と、冬、進路の面接練習をしていたときの話をします。あなたの「座右の銘」は何ですか？と訊いたとき、私は2人の回答が印象に残りましたので、ここで紹介します。

Aさん「人間万事塞翁が馬」

これは1月始業式で私が取り上げた言葉でもありました。人の幸せや不幸は簡単には判断できない。何が幸いし、何が災いになるかわからない。悪いことにみえても、あとで良いことにつながる。またその逆もあります。だから、その場の感情、結果だけで落ちこんだり、早合点しないで、今を精一杯生きること。それが大切と、卒業生は語りました。

Bくん「己の欲せざる事は人に施すこと勿れ」

自分がしてほしくないことは他人にしてはならない、という論語の教えです。例としては、自分勝手な行動や、悪口や仲間はずれでしょうか。他の人の立場にたって行動するという思いやりと節度の言葉を、卒業生は私に話してくれました。

始業式にあたり、私から在校生に、次の言葉を送ります。

「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心をあたためる」

私は、言葉の力を信じています。令和8年度のスタートにあたり、どうしてもこの『一言』を2,3年生に伝えたかった。最後に、もうひとつメッセージを追加させてね。テーマは『本気』。

「本気ですればたいいことができる 本気ですれば何でも面白い 本気でしていると誰かが助けてくれる」

春休み中、本校美術部の活動紹介

下今井地区の旧道トンネルの壁画をリニューアルしました。



※学校HPに月予定や年間行事予定がアップされています。活動のひろば(日常生活の様子)もご覧ください。